

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	旭区
学 校 名	大阪市立今市中学校
学校長名	古家 真人

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
 - ・生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語A・国語B、数学A・数学Bのすべてで、大阪市平均を下回っている。また、領域別に検証してもすべての領域で大阪市平均を下回っている。反復学習などで基礎的・基本的学力の充実をさらに推進する必要がある。

また、無解答率も、昨年以前に比べ高くなっている。指導方法の工夫改善を図り、学習意欲の向上を進めていかねばならない。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

A・Bとも、平均正答率よりわずかに低い段階に集中している。自ら課題に気づき、学習する姿勢の育成に力を入れる。一定の成果がみられた漢字・文法等の基礎的・基本的事項の定着の補充進化が重要である。また、読書に対する意識は高まったが、学力に反映されない現状の改善を図らねばならない。領域別では、特に「書くこと」に関する正答率が大阪市平均に比べ低い。自分の考えをまとめ、発表させることを重視していく。

〔数学〕

平均正答率前後に多くの生徒が集中している。基礎的・基本的学力は一定の定着がみられるが、さらに向上させるため、自ら学ぶ姿勢の育成に努めなければならない。低い正答率の生徒の割合が例年より高い。習熟度別授業等で個に応じた指導をすすめる。「関数」「資料の活用」の領域の正答率が低いので指導形態や指導法の工夫改善を図る必要がある。

質問紙調査より

「読書が好き」と回答する生徒の割合は増加しており、言語力の育成に向けてさまざまな取り組みを進めた成果が表れている。

国語・数学とも「授業が好き、授業内容がよくわかる」「学習のめあてがわかる」という問いに肯定的回答をする割合が低い。学習の目的を明確にさせ、学習に取り組む姿勢の改善を図る必要がある。

朝食を毎日食べている生徒の割合は全国並みではあるが、就寝時間が不定期であったり、ゲーム等に費やす時間が長いなどの傾向がある。基本的生活習慣の育成に引き続き努めなければならない。

今後の取組

国語科では、今後とも、漢字の読み書きや文法など基礎的・基本的事項の定着を推進する。表現力や言語力の育成を目指し、人の意見をしっかりと聞いて考えたり、自分の考えを発表したり、グループで話し合うことができるよう、指導法の工夫をはかる。

数学科では、基礎的な計算などの能力の定着を図るとともに、アクティブラーニング等をより推進していく。

学習活動全般において、ICT機器の積極的な活用を図り、学ぶ楽しさを体感させ、また自ら学ぶ姿勢の育成を図る。

基本的生活習慣の確立と家庭学習に充実を図り、知・徳・体のバランスのとれた育成をめざす。

【 全体の概要 】

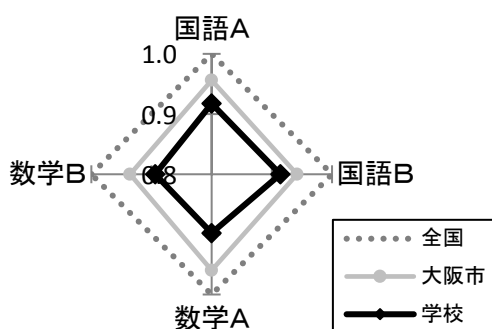
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	71	66	58	43
大阪市	74	68	62	45
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

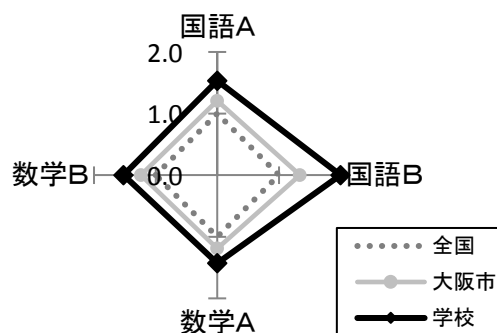
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	3.7	7.6	9.0	17.8
大阪市	2.9	5.1	7.5	14.5
全国	2.4	3.8	6.3	11.7

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

A 問題

平均正答率(%)

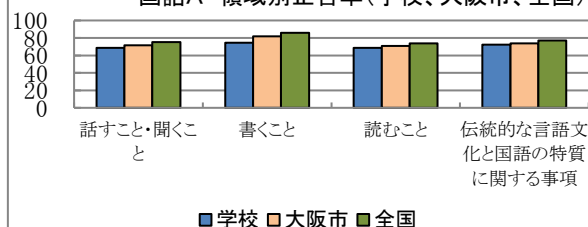
A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	68.6	71.6	75.4
	書くこと	4	74.5	81.8	85.7
	読むこと	6	68.7	70.7	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	72.3	73.9	77.2

B 問題

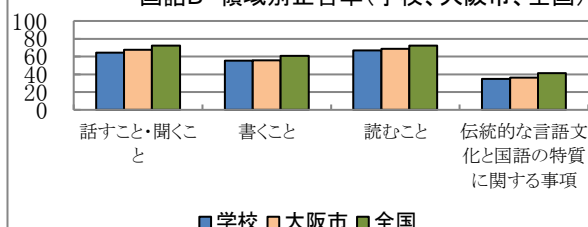
平均正答率(%)

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	64.5	67.5	72.4
	書くこと	4	55.3	55.6	60.8
	読むこと	4	67.0	68.7	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	34.8	36.3	41.4

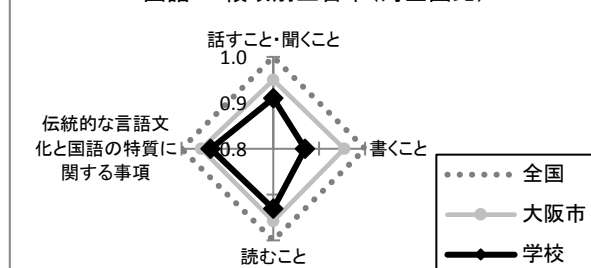
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



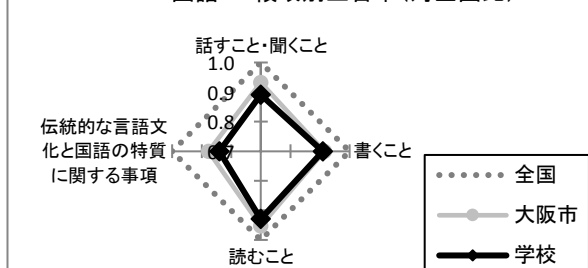
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)



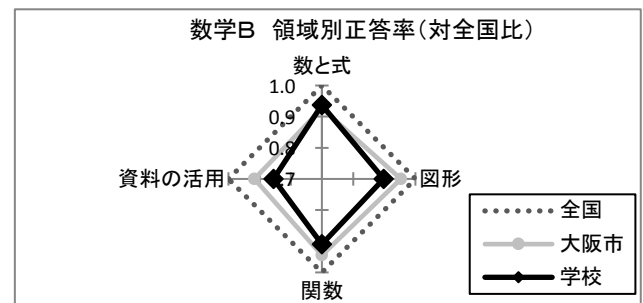
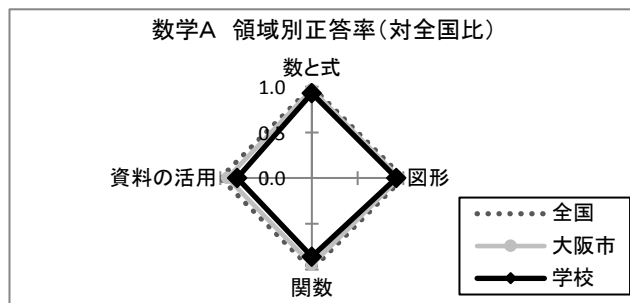
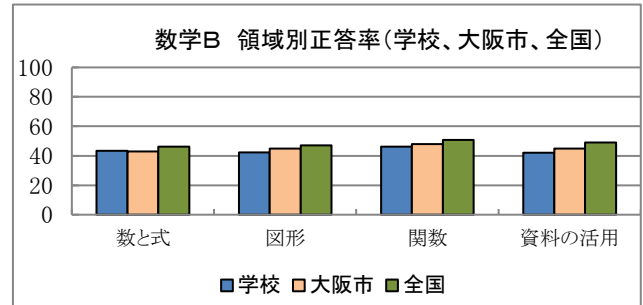
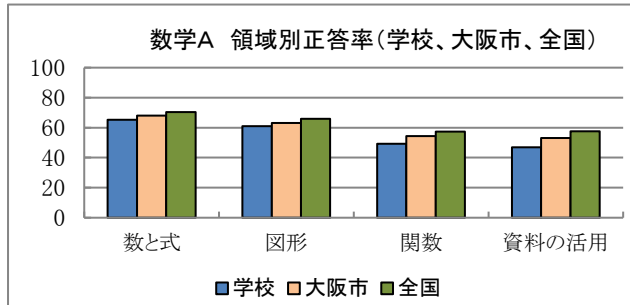
国語B 領域別正答率(対全国比)



【 数 学 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	65.3	68.1	70.4
	図形	12	61.1	63.2	66.0
	関数	8	49.3	54.4	57.4
	資料の活用	4	47.0	53.1	57.6

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	3	43.4	42.9	46.3
	図形	6	42.3	44.9	47.1
	関数	3	46.2	48.0	50.8
	資料の活用	3	42.0	45.0	49.1



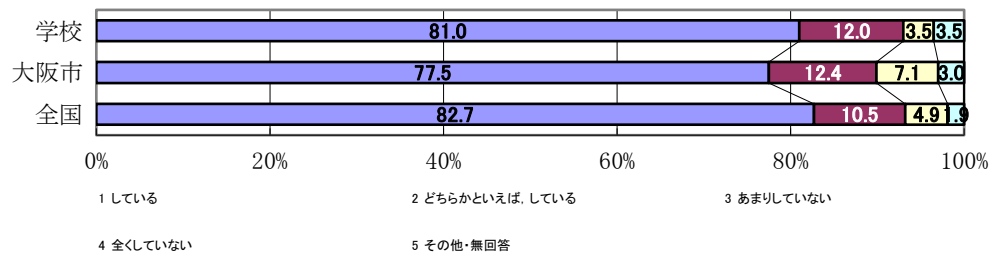
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

質問番号
質問事項

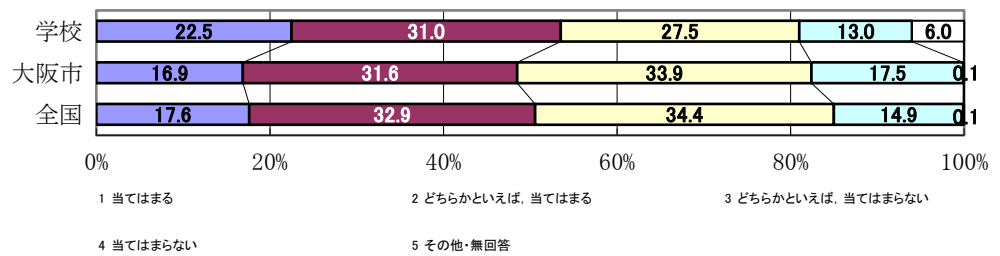
1

朝食を毎日食べていますか



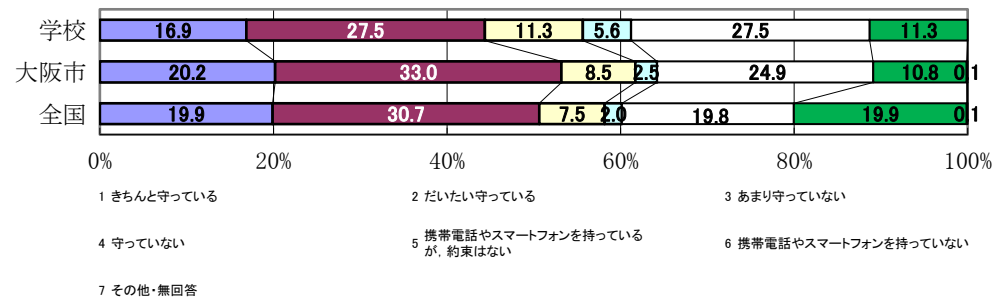
7

友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



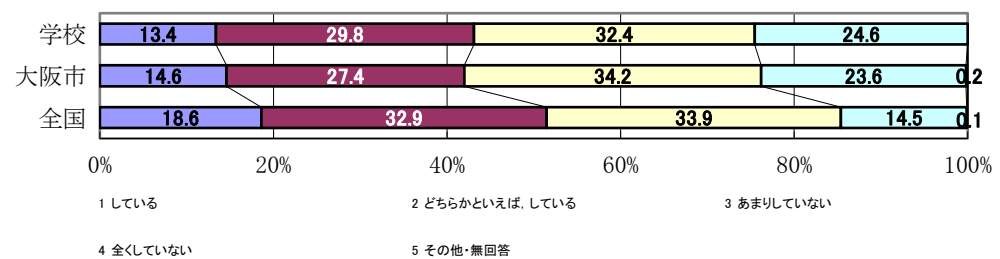
27

携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



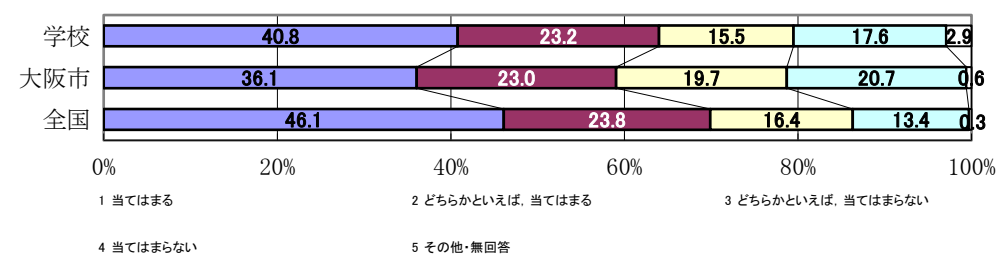
31

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



74

読書は好きですか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

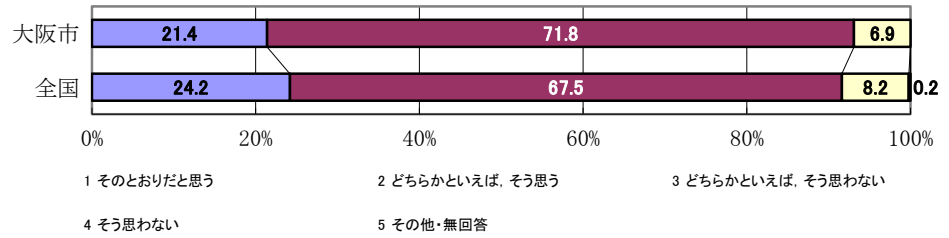
質問番号

質問事項

12

調査対象学年の生徒は、
熱意をもって勉強している
と思いますか

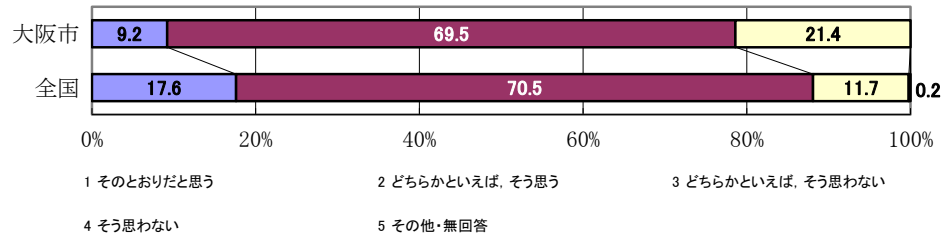
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



18

調査対象学年の生徒は、
自らが設定する課題や教
員から設定される課題を理
解して授業に取り組むこと
ができていますか

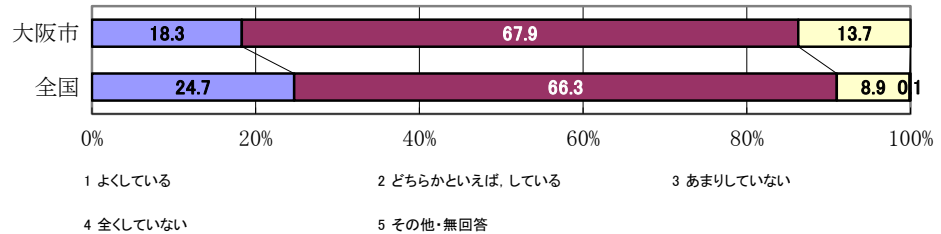
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

指導計画について、言語
活動に重点を置いて作成し
ていますか

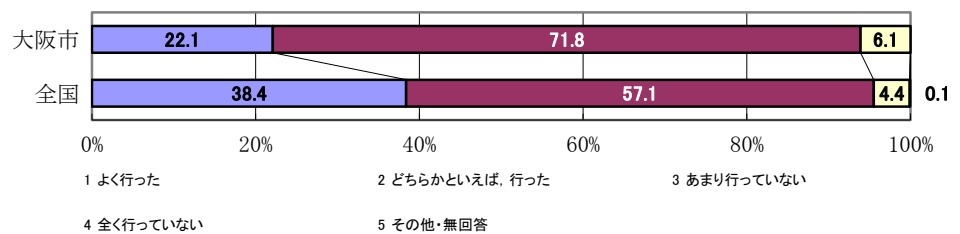
学校 「よくしている」を選択



51

調査対象学年の生徒に対
して、前年度までに、学校
生活の中で、生徒一人一
人のよい点や可能性を見
付け、生徒に伝えるなど積
極的に評価しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



56

平成28年度全国学力・学習状
況調査の自校の分析結果に
ついて、調査対象学年・教科
だけではなく、学校全体で教
育活動を改善するために活用
しましたか

学校 「よく行った」を選択

